

オークランド概要及び日本との関係

在オークランド日本国総領事館
平成30年11月

1 オークランド概要

- 1 ニュージーランド(NZ)の最大都市:オークランド市は、NZ全人口の三分の一を占めるNZ最大の都市。人口は160万人。
- 2 NZの経済の中心:NZのGDP全体の36.6%を占め、事業者数(33%)や雇用者数(34%)でも他の地域を大きく上回る最大の経済圏。
- 3 NZの空の玄関口:オークランド空港は国際線及び国内線の二つのターミナルを持つNZ最大の空港。日本との間では、NZ航空が成田-オークランド間に直行便を週7便運航(全日空とのコードシェア)。羽田(現在中断)と関西空港への季節運航便もあり。
- 4 NZの旧首都:ウィリアム・ホブソンNZ初代総督が1841年に英国植民地の首都と定めて以来、オークランドはNZを代表する都市として発展してきた(首都は1865年ウェリントンに移転)。
- 5 多民族都市:NZで最も国際色豊かな多様性に富む都市であり、他都市に比べ特にアジア系及び南太平洋島嶼系の比率が高い。
- 6 移民:オークランドに流入した移民は純増ベースで年3.5万人(NZ全体の49%)に達している。アジア系を中心とした移民、特に中国からの移民増大が顕著に見られ、人口の8.4%(11.8万人)を中国系が占める。
- 7 オークランドの課題:急増するオークランドの人口を主要因とする住宅不足と住宅価格高騰、道路・鉄道等の公共インフラ整備、深刻化する交通渋滞対策等が喫緊の課題となっている。また、2021年には、ヨットのアメリカズカップ及びAPEC首脳会議が当地で開催予定であり、すでに増加著しい観光客に対応しきれなくなっている宿泊施設の収容能力の増強も課題。

2 日本との関係

- 1 日系企業:NZ経済の中心地であるオークランドには、NZに進出している大手日系企業の拠点多い。進出日系企業の団体としてオークランド日本経済懇談会(通称「ニ水会」)があり、45社(63人、ジェトロを含む)が会員となっている。
- 2 姉妹都市交流:オークランド市は栃木県宇都宮市(1982年)、福島県富岡町(1983年)、福岡県福岡市(1986年)、東京都品川区(1987年)及び兵庫県加古川市(1992年)の5都市との姉妹都市関係を有している。
- 3 在留邦人:当総領事館管内に居住する在留邦人数は10,822人(長期滞在者4,457人、永住者6,365人)。その内、オークランド市の在留邦人数は9,534人(NZ全体の在留邦人数は19,664人)(2017年10月1日現在)。